

令和3年度北雄合宿(ガイダンス)

○ 合宿の目的

- ①秋田高校の伝統を理解し、帰属意識を高め、愛校心を持つ。
- ②各界で活躍する著名人や卒業生等の講演を通して「キャリア教育」の第一歩とし、「わが生わが世の天職いかに」を常に問い続けながら、「おのれを修めて世のためつくす」ことを実践していく契機とする。
- ③学校生活に早く慣れるために、同級生同士の交流を図りながら、挨拶や時間厳守の徹底をはかることにより、基本的な生活習慣を身につける。
- ④授業に早く慣れ、秋高生としての学習をスムーズにスタートできるように、国語・数学・英語の学習の進め方を体得する。

○ 実施日：4月8日（木）、9日（金） 2日間

○ 会 場：「ビューホテル4F（貸切）」 ※秋田市内のホテル実施は初

○ 内 容

- ①校長講話
- ②OBによる講演会
- ③学習ガイダンス（英・数・国）
- ④校歌練習（校歌の意義等含む）
- ⑤クラス交流会
- ⑥インターネットセキュリティー講話



○聖マタイの召命の絵画



○校長からの問いに悩む生徒

○ 令和3年度 講演者紹介

- ① 中村順子氏（なかむら よりこ）・・・昭和50年卒
秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 地域包括ケア担当学長補佐
- ② 鈴木康倫氏（すずき こうりん）・・・昭和57年卒
クウェート三菱商事 CEO（※クウェートより、ZOOMでの講演）
- ③ 島田 諒氏（しまだ りょう）・・・平成16年卒
博報堂 第八ビジネスデザイン局 ビジネスプロデューサー
- ④ 武田 詢氏（たけだ じゅん）・・・平成27年卒
総務省行政管理局管理官付（政府共通プラットフォーム担当）総務事務官

○ 北雄合宿・講演会感想セレクション

講演①「“最期まで自分らしく”を支えるために歩んできたこと」 中村順子 氏（秋田大学教授）

私は看護師を目指しているので、すぐくためになるお話を聞けました。私は総合病院に勤務したいと考えていましたが、訪問看護の魅力について知り、その道にも進んでみたいと思うきっかけになりました。看護とは何か。私の考えを遥かに上回り、ものすごく奥深いものだと感じました。この問いを忘れないように、胸にとめておきたいとおもいます。

中村さんのような仕事で誰かの願いに応えるために自分ができることをやっていく姿が素晴らしいと思いました。常にどうなりたいか、どこまで自分が到達したいかなど強い意志があれば、不安になることはないのだと分かりました。どんなことにも問いを持ち続ける姿勢が自分を深めることができると感じました。問いを持ち、実践していくことが大切だと感じました。



講演②「グローバルな時代を生きる ～秋高生へ～」 鈴木 康倫 氏（クウェート三菱商事CEO）

実際に外国で仕事、生活をされている方のお話は、実のあるものでした。宗教の理解が外国での生活に大切になるのだと知りました。これから、興味を持っていろいろ調べてみたいと思います。また、視野を全国、世界レベルに広げることの大切さに改めて気付きました。時間はかかるかもしれませんが、いろいろな経験、人との関わりの中で視野を広げていきたいと思っています。

私は将来海外の文化や人々と交流し、会話したいと考えているため、実際に海外で活躍している方のお話を通して、実際のことを知ることができてよかったです。また、脱炭素社会になっていく中で石油産出国の発展を今後どうして行くのか前もって手を打つ必要があるということに興味が出ました。



講演③「逆算力」 島田 諒 氏（株式会社博報堂）



なりたい自分になること。キャリアというものの概念が私の中で明確になりました。自分を高めていくための目標設定能力。わたしにはまだまだ足りない能力です。自分の将来を考え、たくさんの情報を集めて、よく考えていきたいと思っています。わたしには、逆算する力も圧倒的に足りません。この機会にこのようなお話を聞いて本当に良かったです。

将来どんな自分になりたいかという目標設定を今からしっかりと、そこに向けて逆算していくことが大切だと知ることができました。

自分の意思を伝えたり、人に働きかけたりするためのコミュニケーション能力を高校生活を送る中で養っていききたいと思います。

講演④「成長の種」 武田 詢 氏（総務省総務事務官）



人の話を聞くこと。自分の意見を言うこと。私は自分でそのことは得意だと思っていましたが、武田さんのお話を聞いて、まだまだだと感じました。武田さんはよく人を理解されてきた方なのだと思います。私の憧れの人物像だったので、お話をしている姿、質問に答えられている姿からも学べるものがありました。

自分を知るためには人を観察し他の人から学ぶ姿勢を持つこと 自分の性質を知り自分をうまくコントロールするために細かいテクニックを工夫したり思い切って新しい環境に飛び込んだりすることも大切だということ。マクロな視点とミクロな視点を持つ事も必要だとわかった。人からどんどん学んで自分という他者とうまく付き合っていきたい。